

2015年6月

各位

全国大学生生活協同組合連合会
専務理事 毎田 伸一

「内向き」は本当か？ 2014年大学生の意識調査報告書 ～昭和の大学生、平成の大学生～ 発行のご案内

前略 時下ますますご清祥のことと存じます。また平素は大学生協の運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて弊会におきまして実施しました「2014年大学生の意識調査」の報告書がまとまりましたのでご案内いたします。

大学生協では毎年「学生の消費生活に関する実態調査」を実施し、学生生活の変化を広く発信してまいりましたが、この調査が50回の節目を迎えるにあたって、学生の意識の「今」をさらに深く探ることを目的とした「2014年大学生の意識調査」を実施しました。

経済の低成長期に生まれ育った現代の学生たちは、「内向き」「さとり」「ゆとり」といった言葉で表現されることも多くありますが、調査結果からは、将来に対して不安を感じつつも勉学生活や人間関係を通して将来を見据え、着実な行動を選択している様子が見えてきます。

また本報告書には「学生の消費生活に関する生活実態調査」の経年比較や年代毎に特徴あるデータも併せて収録しています。社会情勢とともに緩やかに変化してきた50年間の学生の姿と、「今」の大学生を深く理解して頂くためにご活用ください。

草々

記

書名 「内向き」は本当か？2014年大学生の意識調査報告書
～昭和の大学生、平成の大学生～

体裁 A4判・本体96ページ

頒価 税別10,000円 (送料込)税込 11,000円

発行日 2015年6月5日

発行 全国大学生生活協同組合連合会

お問い合わせ・お申し込み先

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22

全国大学生生活協同組合連合会

企画室 調査担当あて

E-mail gakucho@univcoop.or.jp

電話 03-5307-1125 FAX 03-5307-1180

「内向き」は本当か？2014年大学生の意識調査報告書

はじめに

第1部 2014年大学生の意識調査報告

＜調査企画・分析＞

浜島 幸司（同志社大学 学習支援・教育開発センター 准教授）

谷田川 ルミ（芝浦工業大学 工学部 准教授）

*企画・分析者の所属は執筆当時のものです

序章 調査の目的と概要

第1章 授業・学業への姿勢

1. 学内生活にはかなり満足
2. 学内施設、支援情報へも満足
3. 学業への意欲も高い
4. 「生徒化」する大学生
5. 読書時間
6. 大学への愛着と学業への姿勢

第2章 日常生活について

1. 浪費でもなく、儉約でもない消費感覚
2. 支出額
3. 半数以上が食事・睡眠に気を配った生活
4. 現在の暮らし向きと健康への捉え方

第3章 大学生の人間関係

1. 家族と仲よし。身近な友人関係を維持はするが、拡張はしない傾向
2. LINEは大学生の友人関係に欠かせないツール
3. 大学生活の中で成長する人間関係
4. 友だちの存在は大学生活を豊かにしている
5. 女子学生より男子学生のほうが「友人より恋人」を優先
6. 小括

第4章 海外・留学意識と将来展望

1. 海外への関心は高く、留学希望もある
2. 規範意識、社会への関心は高いが日本の未来に対しては悲観的
3. 半数以上が「将来は地元で暮らしたい」と思っている
4. 将来は夫婦で家事・育児を分担しながら仕事も続けたいと考えている
5. 小括

終章 まとめ

2014年 大学生の意識調査 単純集計表

第2部 第1回～第50回学生生活実態調査にみる大学生生活の変化

＜経済生活＞1ヶ月の生活費/奨学金/アルバイト/暮らし向き

＜大学生活＞大学に対して/大学生活/サークル活動/就職について

＜日常生活＞読書時間・書籍の購入/悩みやトラブル/相談相手や関心/1日の食事

＜消費行動＞半年間の特別費/運転免許・資格取得/旅行・合宿/耐久消費財等の保有

＜年代別にみる学生生活＞1963年～1979年/1980年～1989年/1990年～1999年/2000年～2014年

【資料】大学と大学生協の変化/第50回学生生活実態調査概要報告/第50回学生生活実態調査 調査票

FAX 03-5307-1180

全国大学生生活協同組合連合会 企画室 調査担当宛

「内向き」は本当か？
2014年大学生の意識調査報告書
申込用紙

年 月 日

「内向き」は本当か？
2014年大学生の意識調査報告書」を



冊

申し込みます

申込者氏名 _____

社名・大学名 _____ 所属 _____
(大学にご所属の場合いずれかに○をつけてください… 教員 職員 学生 院生)

送付先 〒 _____

電話 _____ FAX _____

メール _____

使用目的 (必ずご記入ください)

- 1) 記事編集のため→掲載予定誌 (紙) 名 (_____) 発行予定日 (月 日) ※
- 2) パンフレットや資料へ転載するため (パンフレット・資料名 _____) ※
- 3) 研究目的のため
- 4) 図書館等蔵書として
- 5) マーケティング資料として (業種 _____)
- 6) その他 (_____)

連絡事項 (請求書の宛名等のご指定があればご記入ください)

※印刷物へ転載の際は、詳細を改めてご連絡ください。

※お支払いは報告書到着後銀行振り込みにてお願いいたします。

当会使用欄

請求書番号 受付日 発送日 振込締切日 担当者

0150— —